学校番号	３０１８

令和８年度　家庭

教科	家庭	科目	生活文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・衣食住の文化に関する知識と技術を身につけ、よりよい生活をめざしましょう。
・実習・体験学習を通して、生活文化を身近なものとして理解を深めるとともに、思考力・コミュニケーション能力を養いましょう。
・生活文化の中の創造性を活かした活動に興味を持ち、造形の力を活かす意欲を持ちましょう。

2　学習の到達目標

日本の生活文化の視点から衣食住について科学的理解を深め、その知識をもとに家庭や地域社会の中で課題を発見し解決する力を養う。また、実践を通して気づいたことや学んだことを考察し、実習や生活に生かそうとする力を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の生活文化の視点から衣食住について科学的理解を深めるとともに、よりよい生活を送るための必要な知識とそれに関連する技能を身につけている。	生活文化に関して、家庭や地域及び社会の中から課題を見出し、解決するために思考を深め、実践を見直し、評価改善する。また、考察した根拠に基づいて理論的に表現することができる。	生活文化への理解を深め自身の生活に役立てるために実習やグループワークなどにおいて主体的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本の生活文化と地域性	・生活文化について 暦・年中行事・行事食について	a: 日本の風土や生活の中で培ってきた衣食住の文化や行事などが、季節や稲作農業と密接に関係していることを理解している。	プリント 小テスト	―	―
		・刺し子、巾着袋づくり ・組みひもミサンガづくり ・単衣長着（浴衣）の着装	a: 刺し子を通して基本的な手縫いの技術を身につけている。組みひもの成り立ち、和服の着装について理解している。 b:伝統的な衣生活の文化に触れ、現代の生活の問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想することができる。 c:伝統的な生活文化を自身の生活に役立てようと主体的に取り組んでいる	プリント 小テスト	ワークシート	授業観察 自己評価シート
2	衣生活と文化	・ランチョンマットづくり ・世界の衣生活について調べ、発表する。	a: 基本的なミシンの使い方を理解し、身につけている。ロックミシン技術を習得している。 b:世界の伝統的な衣生活の文化について調べ、日本の生活文化と比較しながら論理的にまとめ、発表し、表現することができる。 c: テーブルコーディネートをふまえて図案を自分で考え刺繍を施し、より良い生活のために主体的に取り組んでいる。	プリント 小テスト	ワークシート	授業観察 自己評価シート

	日本の食文化	・和食の特徴 食膳形式、食卓作法、伝統的調理 ・調理実習 調理技術の基本と行事食の調理 ・世界の食文化	a:食文化について理解し、調理技術の基本を習得している。 B:各地の食文化を比較する中で、現代の食生活の問題を見出して、解決策を考えて工夫をしている。 c:班で協力して安全に効率よく活動できるように、主体的に実習に取り組んでいる。	プリント 小テスト	ワークシート	授業観察 自己評価シート
3	日本の住文化	・現代の生活に根付く伝統的な住文化	b:家庭基礎の学習内容を発展させ、現代の生活に根付く伝統的な住文化について論理的にまとめ、表現することができる。 c:伝統的な住文化を自身の生活に役立てようとしている。	―	ワークシート	授業観察 自己評価シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度